

国営かんがい排水事業

あばしりがわちゅうおう

「網走川中央地区」



地区の概況

本地区は、北海道オホーツク総合振興局管内の網走郡美幌町、大空町に位置する2,289haの農業地帯で、もち米を主体とする稲作と、小麦、ばれいしょ、てんさいの畑作3品を主体にたまねぎ、野菜類を加えた畑作による営農が展開されている。

地域で生産されたたまねぎ、ばれいしょは、美幌地方広域農業協同組合連合会（美幌広域連）が組織されており、全国各地に向けて出荷されている。



水稻の収穫



たまねぎの収穫



美幌地方広域農業協同組合連



たまねぎの選果、出荷

地区の現状と課題

基幹施設である西幹線用水路の一部では雪荷重、凍上圧を考慮した設計基準適用前であることも起因し、コンクリート側壁の傾倒やひび割れ、漏水等が発生している状況にある。

また、西幹線頭首工は、造成後30年以上経過し、水門設備は標準的な耐用年数（30年）を超過している状況であり、頭首工ゲートは漏水が発生している状況にある。畑作は降雨に依存した営農により作物生産が不安定な状況である。

【西幹線頭首工】



ゴムの劣化によりゲートの漏水状況

【西幹線用水路】



側壁の傾倒状況
(切梁により対応)

【作付現況】



【てんさい干ばつ状況】

事業目的

本地区の営農は、てんさい、ばれいしょ等の畑作物を主体にたまねぎなどの野菜類、水稻を導入した営農が展開されているが、畑作は降雨に依存した営農により作物生産が不安定な状況である。

一方、用水施設は、コンクリートのひび割れ、水路側壁の傾倒等の発生により、農業用水の安定供給に支障を来している。このため、本事業において用水施設の整備を行い、農業用水の安定供給を図るとともに、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。

事業の未実施



劣化が進行し、施設が倒壊・破損する



かんばつ被害を受け、地域の農業に影響

★用水施設の劣化が進行し、倒壊により用水の安定供給が図られない。

★かんばつ時に作物収量の低下を招いており、不安定な状況が続く。

事業の実施

【用水施設の改修イメージ】



劣化が進行した施設の改修による用水の安定供給

【畑かん散水イメージ】



畑地かんがい導入による農業生産性の向上

★農業生産性の維持
既存用水施設の更新により、年間約6千トンの作物生産と約4億円の農業粗収益を維持

★農業生産性の向上
畑地かんがい施設の整備により、年間約14千トンの作物生産と約6億円の農業粗収益が増加

事業概要

- 関係市町村：網走郡美幌町、同郡大空町
- 受益面積：2,289ha
(水田1,082ha、畑1,207ha)
- 事業工期：平成29年度～
- 主要工事：頭首工（改修） 1箇所
 用水路 4条 29.8km
 （開水路15.9km、管水路13.9km）
- 主要作物：水稻、小麦、大豆、小豆、ばれいしょ、
 てんさい、たまねぎ、ブロッコリー、



小麦を用いた中華麺



たまねぎ
ドレッシング



にんじん
ジュース



ばれいしょ等を用いた
コロッケ



たまねぎ等を用いたカレー



小麦を用いたうどん